

# 平成23年度 第3回 藤島地域審議会次第

日時:平成23年7月26日(火)09:30~  
会場:藤島庁舎3階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協 議

(1) 藤島地域審議会協議テーマ

「地域の活力を高める方策について」  
商店街の活性化

藤で豊かなまちづくり

情報・広報の充実について

公民館が地域づくりの中心

4 その他

5 閉 会

## 協議テーマ「地域の活力を高める方策について」に関する提案の分類

少子高齢化や経済情勢などにより、地域の活力の減退が懸念されるが、生活基盤の面では、住民自ら活力を高めていく努力が肝要であり、その方策を各分野において探る。

## 商店街の活性化（丸山委員より）

高齢化社会の進行に合わせた、利用者側の視点から商店街サービスの見直しを検討してはどうか。

「つや姫」をPRする団体も立ち上がり、看板を立て、美味しいご飯を提供する店を増やすとしていますが、どこで、どう実現に向けて進むのでしょうか。

産直「楽々」の活性化について  
 駐車場が閑散として客の入りが少ない。原因は品数の不足や客寄せする目玉がないのでは。

## 藤で豊かなまちづくり（阿部委員より）

藤の花・実・蔓・木・葉を生かした産業や活動を工夫する。

花 押し花・染色・温泉・写生会

実 菓子など

蔓 リース・家具など

木 置き物など・盆栽

葉 料理の添物

## 情報・広報の充実について（第1回地域審議会より）

地域力は、住民のネットワークや人と人のつながりのこと。地域力を高めるために、広報等で、地域の人たちが自ら情報を発信することで、地域の一体感、連帯感を作り、地域の結束がすすむ。（相馬大委員）

広報は、住民だけでは、編集能力やレイアウトが難しいので、公民館で住民側の発言や想いを一度まとめて、公民館を経由して発信することが大事。これが藤島らしい公民館の生かし方（小林功委員）

公民館へ掲示板の設置をして、お互いの情報交換をしてはどうか（今野多美子委員）

フェイスブックやツイッターの活用をしてはどうか（相馬大委員）

## 公民館が地域づくりの中心（第1回地域審議会より）

地域の活力は、地区の公民館活動が大事。公民館で、住民がコミュニケーションをとれるような活動が必要。これをさらに充実させる。（丸山厚委員）

上藤島の公園は、行政だけでなく、住民を巻き込んだ公園づくりをした。維持管理も町内会で取り組んでいる。コミュニティが活発化した。（高橋竜太委員）

## 藤島ふれあいセンター利用状況

藤島地域の中心街の活性化・住民福祉の向上・世代間の交流及び文化活動の促進を図るとともに、店舗を併設し、地域住民特に交通手段をもたない高齢者等の日常生活の利便性を確保する多機能型複合施設として多くの住民に利用されている。

## 1) 藤島ふれあいセンター利用状況

	21年度		22年度		前年比	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
社協関係	16	171	11	131	△5	△40
福祉団体関係	81	1,725	80	1,668	△1	△57
行政関係	32	613	27	616	△5	3
子育て関係	155	3,194	153	3,799	△2	605
趣味・同好会関係	72	723	76	794	4	71
その他	125	6,105	133	5,854	8	△251
計	481	12,531	480	12,862	△1	331

## 2) 店舗利用状況

	21年度	22年度	前年比
営業回数	289	306	17
利用者数	44,672	44,978	306

## 3) 御用聞き事業の利用状況

一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象に御用聞き事業を、中小商業新サービス創出支援事業を活用し、平成22年度より事業を開始する。

	訪問件数	受注件数	配達件数
平成23年 1月	618	4	
2月	322	219	131
3月	389	308	129
4月	379	302	116
5月	329	253	106
6月			
計	2037	1086	482

## 平成 22 年産「つや姫」提供状況

## ○「つや姫御膳」・「つや姫弁当」

取り扱い店舗

湯の沢温泉 地藏の湯	御膳・弁当
割烹 春 月	御膳・弁当
ドライブイン 白 藤	御膳・弁当
長沼温泉 ぼっぼの湯	弁当
和食処 富 藤	御膳・弁当
喫茶 オーデンス	弁当

計 6 店

提供数量 (H22.10.10~H23.7.15)

つや姫御膳 (2,500 円・税込み) 178

つや姫弁当 (600 円から) 1,957

※ このほか、通常メニューのご飯を「つや姫」に替えて提供した。

※ 和食処富藤以外は「つや姫」の手配がつかず休止中

## ○「つや姫」米粉入りそば

「つや姫」米粉入りそばと従来のそばとの合い盛り「殿とつや姫」(800 円・税込み)を平成 22 年 12 月 1 日より「手打ちそば草介」で販売開始

## ○「つや姫」米粉パン

「つや姫」吟醸食パン (150 円・税込み)

「つや姫」揚げパン (120 円・税込み)

平成 22 年 12 月 19 日から「長沼温泉ぼっぼの湯」、「ナカムラヤみどり町店」で販売開始

平成 23 年 1 月 23 日から「藤島ふれあいセンターエーブル 21」で販売開始

※ 「つや姫」米粉の手配がつかず 6 月 12 日で販売休止

# つや姫の里からお知らせ つや姫御膳・弁当好評発売中!

つや姫御膳  
2,500円  
(税込み)

つや姫弁当  
600円～  
ご希望に合わせて  
調製いたします

詳細は各店舗へ 要予約

参加店舗

湯ノ沢温泉 地蔵の湯  
TEL: 64-4170  
ご膳・弁当

ドライブイン 白藤  
TEL: 64-2256  
ご膳・弁当

カフェレストラン  
TEL: 64-5758  
弁当のみ

割烹 春月  
TEL: 64-2517  
ご膳・弁当

和食処 富藤  
TEL: 64-2270  
ご膳・弁当

長沼温泉 ぼっぼの湯  
TEL: 64-4126  
弁当のみ

資料番号No. 4

ふじししま地域のお店です  
少数から大量注文まで対応いたします

問合せ先: 「つや姫会」  
TEL: 64-5804

山形県の「つや姫」認定店舗です

是非、ご利用下さい

## ✪ つや姫 米粉パン誕生ものがたり

「つや姫」の魅力を引き出す加工品を作ろうと「つや姫誕生のまち活性化の会加工品部会」で米粉パンに取り組んだのは平成二十二年八月。「つや姫」はお米として平成二十一年秋のブレ・デビューで、その色の白さと食味で大好評を得ていた。「つや姫」を冠するに恥じないおいしいパンにしなければならぬ。当部会では鶴岡で米粉パンのスペシャリストとして実績のある「ナカムラヤ」の中村勲氏に「つや姫パン」の試作を依頼した。数々の試作品の検討を経て、ふじしま秋まつりにおいて試食販売を行ったところ、たくさんの方から商品化を望む声が寄せられた。評価の高かった「つや姫吟醸パン」と「つや姫揚げパン」の二種類を平成二十二年十二月より長沼温泉ぼっぼの湯とナカムラヤの二箇所限定販売することとした。

翌年二月からは好評によりエーブル21でも販売している。

「つや姫吟醸パン」は、白さの際立つ「つや姫」に酒粕を加え、風味豊かな食パンに仕上げた。この酒粕にも藤島で生まれた酒米「出羽燦々」を藤島で栽培して醸造した純米大吟醸「藤島」の酒粕を使うことにこだわった。

「つや姫揚げパン」は、本来米粉パンの持つ油との相性の良さで「つや姫」のうまさを生かしたボリューム感のある菓子パンとした。



✪ つや姫

**吟醸パン**

150円

(消費税込み)



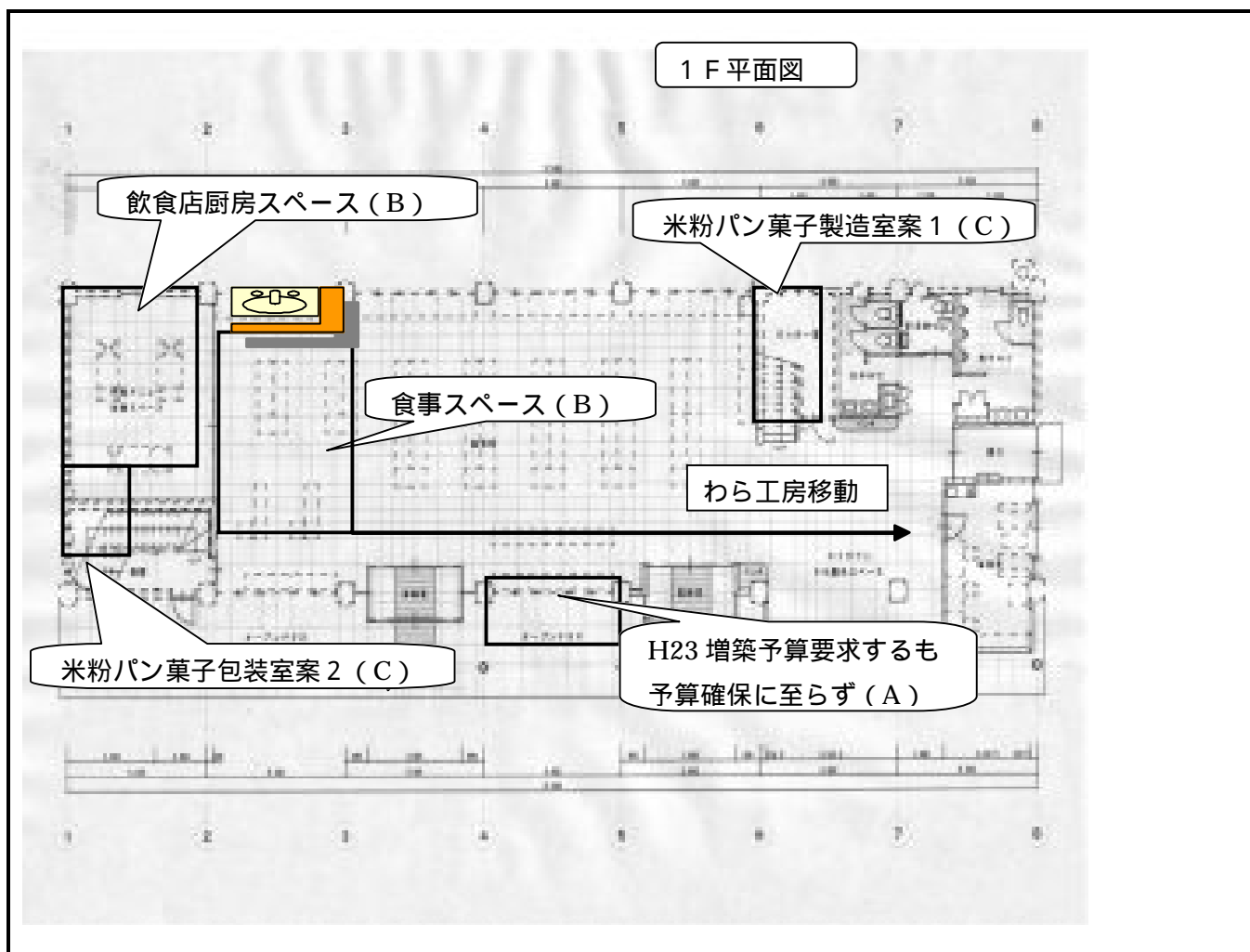
✪ つや姫

**揚げパン**

120円

(消費税込み)

## 2011年7月現在の計画平面図



### 概要

#### 店頭加工販売 (A)

H23 に向け正面入口間で店頭加工販売スペースの増築をすべく予算要求したが、確保には至らなかった。

#### 地産地消レストラン (B)

H23 工事費関係予算 (工事費 50 万円、備品購入費 40 万円)

飲食店営業希望者はいるが、経営方法や人材・経費面から、引受けるかまだ先方で検討中であり、確定には至っていない。(1 団体：2 名)

調理実習室をそのまま飲食店厨房として使用し、わら工芸品展示スペースを移動し食事スペースとする計画。

#### 加工施設 (C)

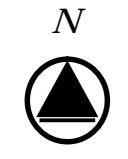
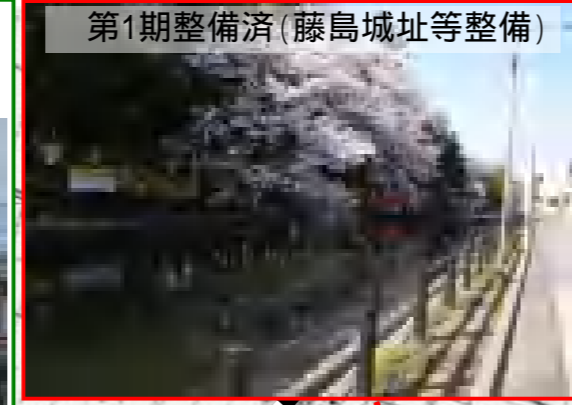
産直組合においては、ロッカー室及び階段下の物置を改修し、パン製造室及び包装室にしたい希望あり。23 年度当初は調理実習室脇のカウンターを拡幅する計画であったが、予算的に困難であることが分かり、上記 2 室 (C) を改修する方向で、現在営業許可と予算、スペース確保の点で調整見積中。

# 都市再生整備計画事業 藤島元町地区(第2期) 整備方針概要図

目標	歴史・文化施設を活用した観光拠点づくりによる来訪者の増加を図り、中心街の活性化を進めます。	指標	歴史公園施設利用者数(人/年)	31,633 (21年度)	34,800 (27年度)
		期間	第2期:平成23~27年度(第1期:平成18~22年度)		

**凡例**

	計画区域
	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	歴史施設



**関連事業**  
都市計画道路藤島駅笹花線街路事業  
(L=455m、W=12.5m)



第1期整備済(藤島駅前拠点整備)



**関連事業**  
ふじの里藤島の魅力アップ事業(ソフト事業)  
見ごたえのある房の長い藤や珍しい藤を藤島にも植樹するため、全国的に有名な藤の枝を譲り受けて、公園等の藤を台木にして接木する事業で、藤の接木の技術を習得し、公園等の藤に接木する業務を、地域のまちづくり団体である「日本一ふじの里づくり推進委員会」が担って実施する。  
歴史公園の藤棚への植樹についても、習得した技術を活用する計画です。

**【日本一の藤の普及率】**  
平成12年の国勢調査に合わせて調査した結果、旧藤島町の藤の普及率は54.9%であり、半数以上の世帯に藤が普及している。  
調査結果 調査世帯・藤がある世帯・うち地植の藤  
(2,761世帯) (1,516世帯) (1,053世帯)



**年次計画(案)**

事業名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歴史公園整備事業	用地交渉	橋本公園敷地内南に歴史公園(公園工事)			
藤島城址の歴史公園整備事業	用地交渉	橋本公園敷地内(歴史公園)	園路整備工事		
藤島城址の歴史公園整備事業	用地交渉	橋本公園敷地内(歴史公園)	園路整備工事		
藤島城址の歴史公園整備事業	用地交渉	橋本公園敷地内(歴史公園)	園路整備工事		

